

〈びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業〉 事業費:7,700千円

～事業の背景～

滋賀県では、古くから琵琶湖の魚介類が食べられてきました。古くから続く湖魚食文化の継承を図ることが必要であることから、子どもたちが琵琶湖の魚介類を食べることのできる機会の創出に取り組んでいます。

～事業の内容～

『びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業』は2つの支援で構成されています。

(1) 給食での湖魚食材活用の推進に対する支援

学校給食関係者に対して、湖魚食材に関する情報の発信や試作会・勉強会への支援を通じて、湖魚食材への理解と関心を深める機会を提供します。

(2) 湖魚食材の活用に係る食材費支援

学校給食への湖魚食材の支援を通じて、子どもたちが湖魚を食べることにより、びわ湖の食文化継承を図ります。

～事業の実績～

令和6年度は、ビワマスや大アユ、加工したホンモロコ等の比較的高価な食材費に対して補助して、124,557食分を学校給食に提供しました。また、各給食センターで実施する試作会に湖魚食材を提供しました。

《琵琶湖八珍ポータルサイト：<https://shigaquo.jp/hacchin/>》

びわ湖のめぐみ



セタジミ



ニゴイ



タテボシガイ



ウナギ

などの琵琶湖産魚介類

琵琶湖八珍



ビワマス



コアユ



ハス



ホンモロコ



ニゴロバナ



スジエビ



ゴリ



イササ

～北の近江振興プロジェクト～

〈漁と魚と料理を堪能できる北の近江プロジェクト〉

事業費 10,600 千円 委託料:9,600 千円(委託先:民間事業者)



～事業の背景～

滋賀県では、県北部地域の振興のため、北部の地域資源や特性を活かして、住み続けたい北部、挑戦する若者が育ち・集う北部、訪れたい北部の実現を目指し、北の近江振興プロジェクトに取り組んでいます。

北の近江の水産業は、特徴的な魅力を豊富に有していることから、これら地域資源を最大限に活用することで、訪れたい北部の実現を目指します。

～事業の内容～

【湖北の漁業】

漁業と湖魚料理を同時に堪能できる機会の創出や、河川漁場での釣り大会や天然アユの観光資源化といった、湖北の漁業者による「漁業」・「魚」・「食文化」に触れる体験プログラムの実践を通し、域外との交流を促進するモデルを構築します。



【漁業見学会】



【あゆずし漬け体験】



【大物釣り大会】

【醒井養鱒場】

地域の高校や事業者等と連携した新商品開発や、農産物・工芸品等の地域特産物のマルシェを醒井養鱒場で実施し、醒井養鱒場の「見る」・「触れる」・「食べる」魅力を充実させ、来場客の増加による周辺地域の活性化を図ります。

また、醒井養鱒場の歴史的構築物を評価し、保全と活用を検討します。



【さめがいマルシェ】



【ワークショップ】



【新商品のがちゃがちゃ】